

総務委員会
厚生保健委員会
市民文教委員会

アセットマネジメント推進課
障害保健福祉課
市民協働・地域政策課
教育総務課
教育施設課

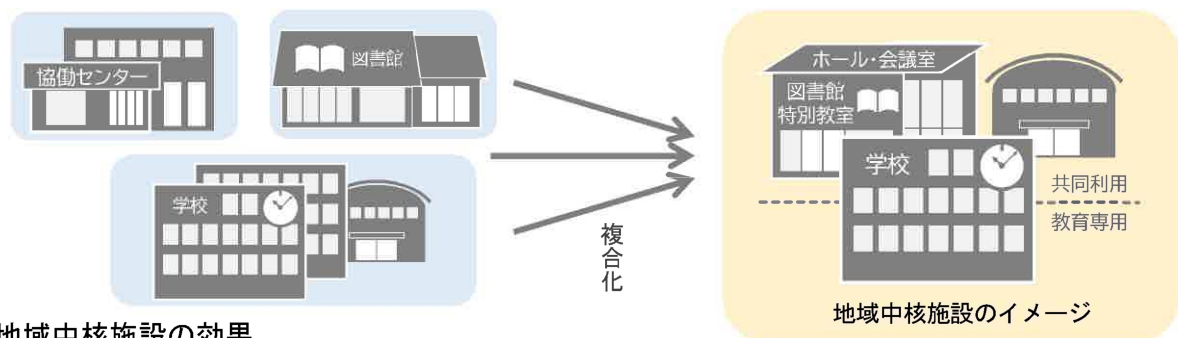
「元気なまち・浜松」の実現に向けた公共施設複合化について

1 背景

- ・令和7年4月、資産経営を長期的かつ着実に推進するための羅針盤として第2期「浜松市公共施設等総合管理計画」を策定。庁内会議を設置し、公共施設複合化の検討を行っている。
- ・複合化には多種多様な施設の組み合わせパターンがあるなか、公共施設の約4割を占め市内全域に設置されている小中学校をはじめ、協働センターや図書館、福祉施設といった公共施設の複合化の検討を進めている。 【資料1】

2 公共施設複合化の考え方

- ・複合化にあたっては、市民の安全・安心と利便性向上のみならず、子育て支援や教育の充実、地域コミュニティの活性化などの視点から検討し、「元気なまち・浜松」の実現に資する施設を目指す。
- ・教育や地域活性化、地域防災など、学校が多く役割を担っていることを踏まえ、学校整備の機会を活用し、地域基盤の整備を推進する。 【資料2】
 - (1) 学校と協働センターや図書館、福祉施設など周辺の公共施設を複合化し、「地域中核施設」として整備することで、地域共生の場を創出する。
 - (2) 複合化する施設は、機能の共有や相乗効果が期待できるものとする。
例) 協働センター及びふれあいセンター、図書館、福祉施設などを想定



3 地域中核施設の効果

- (1) 地域住民の交流促進や賑わい創出による地域コミュニティの活性化
- (2) 生涯学習施設、図書館、子育て支援施設などの一体化による市民の利便性向上
- (3) 地域における生涯学習やコミュニティ拠点の創出による郷土愛の醸成
- (4) 新たな時代の学びを実現するための教育環境の向上や多様な学習機会の創出
- (5) 防災拠点としての機能強化
- (6) 公共施設の規模適正化による将来的な財政負担の軽減

4 地域中核施設の実施予定

- ・佐鳴台 地域中核施設
(佐鳴台小学校、佐鳴台中学校、佐鳴台協働センター、子どものこころの診療所)

5 佐鳴台 地域中核施設 事業概要 【資料3】

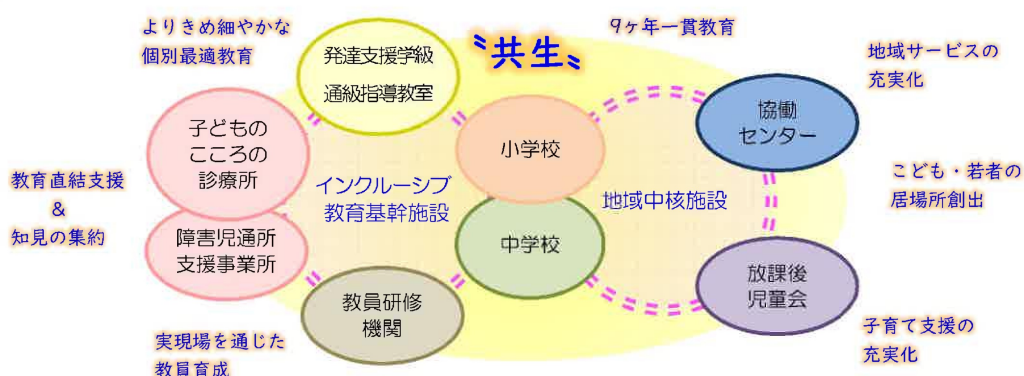
(1) 概要

- ・佐鳴台小学校と佐鳴台中学校 を小中一貫校とし、近隣にある佐鳴台協働センターと現在、鴨江にある子どものこころの診療所を同一敷地内に複合施設として整備する。

(2) 目的

- ・佐鳴台地域の住民交流の促進による地域コミュニティの活性化、郷土愛の醸成
- ・生涯学習機能や子育て支援施設の一体化、こども・若者の居場所の創造による利便性向上
- ・小中一貫校化による9年間の学びと育ちをつなぐ小中一貫教育の推進
- ・医療・福祉・教育連携によるインクルーシブ教育、教員育成・支援の充実
- ・インクルーシブ社会の実現に向けた施設・環境の創出

【機能相関図】



(3) 整備方針

- ・佐鳴台中学校と佐鳴台小学校の敷地を一体化し、小中一貫校として整備することにより、小・中学校間の交流を促進し、安全で連続性のある教育を提供する。
- ・既存校舎を改築し、協働センターと複合化して地域中核施設として整備することにより、学校と協働センターの諸室の共同利用による利便性の向上、こども・若者の居場所や地域の交流の場の創出を図る。
- ・子どものこころの診療所を併設し、教育・福祉・医療機能の連携・相互支援により教員の育成・支援の充実を図るとともに、施設への出入り口を分け、視線にも配慮し、通所者のプライバシーの確保を図る。また、課題となっている初診待機者数及び待機期間の緩和と診療機能の拡充のための施設環境を整備する。

(4) 事業スケジュール (案)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
構想・調整										共用 開始
設計・調査										
整備※										

※整備は、造成・建設・既存解体を3サイクルでの実施を想定